

土量計算

本書では、土量計算の操作方法をご紹介します。

※解説内容がオプションプログラムの説明である場合があります。
ご了承ください。

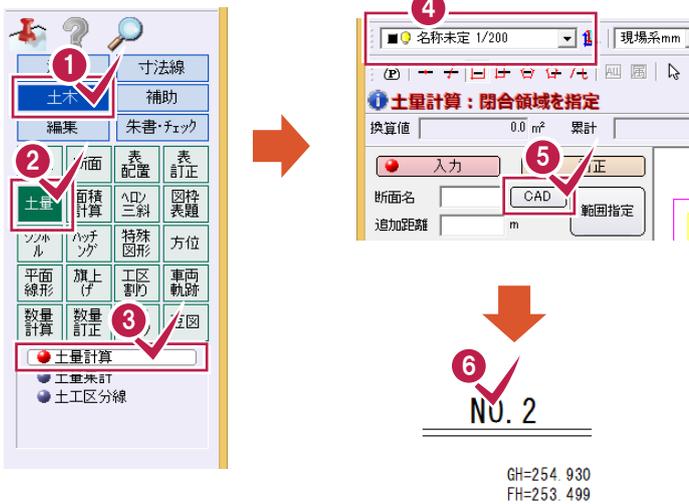
1. 土量数量表を作成する・・・1
2. 土量集計表を作成する・・・6
3. 標高値を配置する・・・・・・7



1

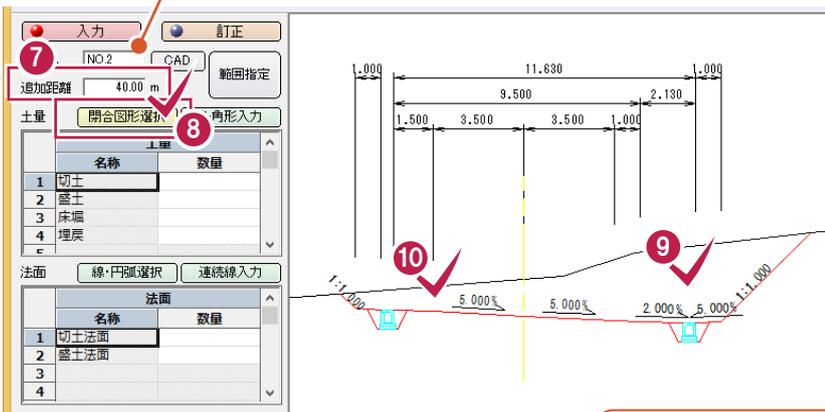
土量数量表を作成する

横断面図を利用して土量数量表を作成します。



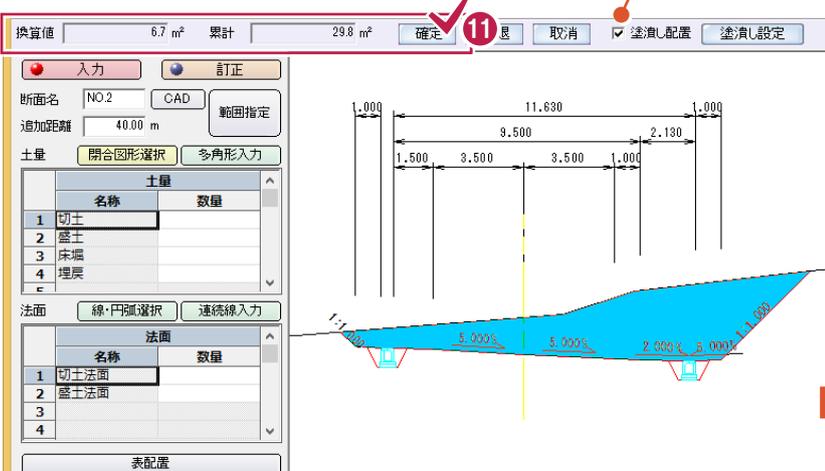
- 1 [土木]をクリックします。
- 2 [土量]をクリックします。
- 3 [土量計算]をクリックします。
- 4 [縮尺]に横断面の縮尺が表示されていることを確認します。
- 5 [CAD]をクリックします。
- 6 図面の断面名をクリックします。

[断面名]が入力されます。



- 7 [追加距離]を入力します。
- 8 [閉合図形選択]をクリックします。
- 9 10 切土の領域をクリックします。

[塗潰し配置]をオンにします。

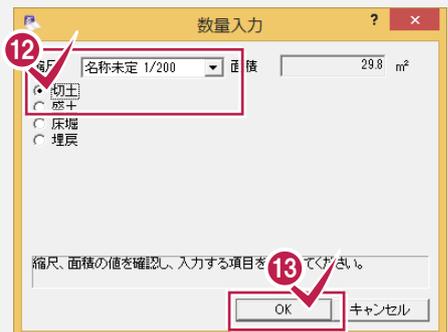


- 11 [換算値]に指定した領域の面積、[累計]に面積の合計が表示されます。よければ[確定]をクリックします。
- 12 [縮尺]を確認して、[切土]をクリックします。
- 13 [OK]をクリックします。

メモ

領域の訂正について

領域を間違っって選択した場合は、[後退]ボタンで1つ前の操作に戻るか、その領域を再度クリックすることで解除できます。



● 土量計算

[切土]に数量が入力されます。

名称	数量
1 切土	29.8
2 盛土	
3 床堀	
4 埋戻	

14 [線・円弧選択]をクリックします。

15 16 切土の法面を選択します。

換算値 4.9 m 累計 5.7 m 確定 後退 取消

17 [換算値]に指定した線の長さ、[累計]に長さの合計が表示されます。よければ[確定]をクリックします。

数量入力

名称未定 1/200 : 長さ 5.7 m

- 切土法面
- 盛土法面

縮尺、長さの値を確認し、入力する項目を選択してください。

OK キャンセル

18 [縮尺]を確認して、[切土法面]をクリックします。

19 [OK]をクリックします。

[切土法面]に数量が入力されます。

名称	数量
1 切土法面	5.7
2 盛土法面	
3	
4	

20 盛土、盛土法面、床堀、埋戻等がある場合は、同様の操作で数量を算出してください。

21 [表配置]をクリックします。

22 表の配置位置をクリックします。

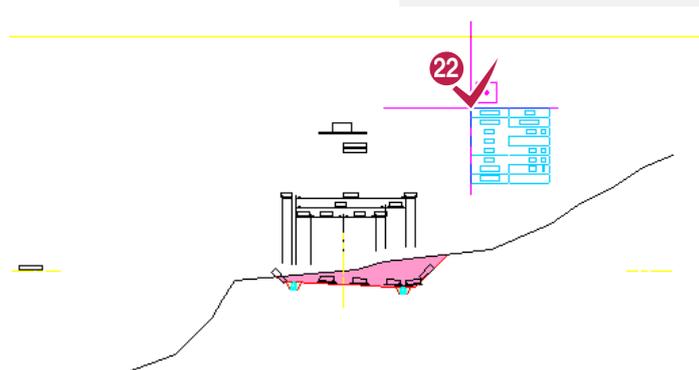
土量

名称	数量
1 切土	29.8
2 盛土	
3 床堀	1.8
4 埋戻	1.0

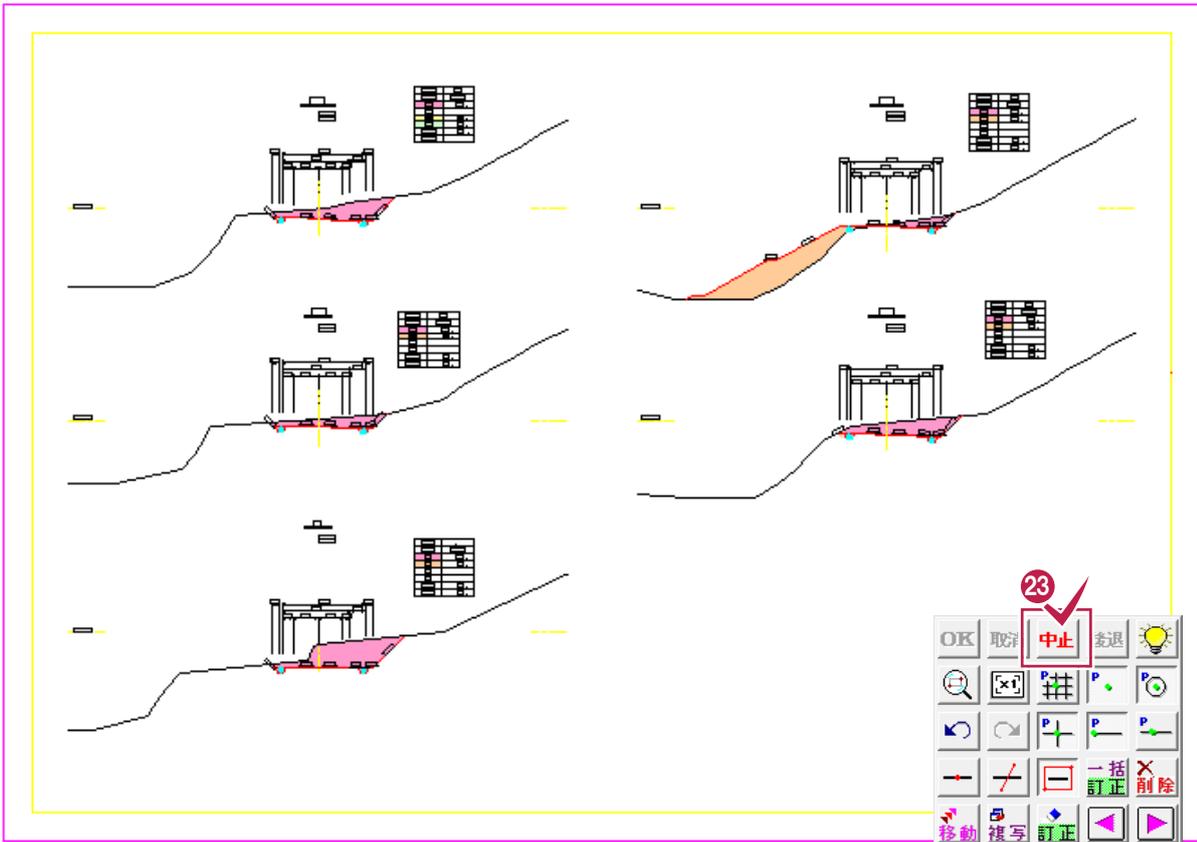
法面

名称	数量
1 切土法面	5.7
2 盛土法面	
3	
4	

表配置



23 表配置が完了したら、右クリックして[中止]をクリックして、土量計算を終了します。

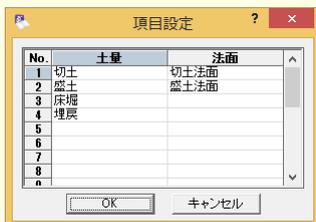


メモ 土量数量表の設定について

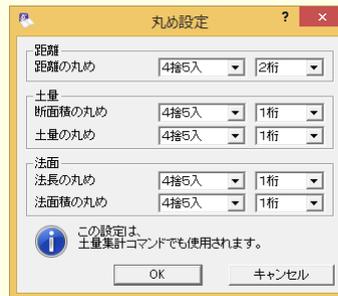
土量数量表の設定ができます。



[項目設定]で項目名の変更が可能です。



[丸め設定]で丸めの変更が可能です。





土量数量表の訂正

一度作成した表は、配置後も訂正が可能です。

名称	数量
1 切土	
2 盛土	

- 1 [土木]をクリックします。
- 2 [土量]をクリックします。
- 3 [土量計算]をクリックします。
- 4 [訂正]をクリックします。
- 5 配置済みの表をクリックします。

測点	NO. 2
区分	数量
切土	29.8 m ²
盛土	
床堀	1.8 m ²
埋戻	1.0 m ²
切土法面	5.7 m
盛土法面	

名称	数量
1 切土	29.5
2 盛土	
3 床堀	1.8
4 埋戻	1.0

- 6 再度、土量を拾い直します。
- 7 [表更新]をクリックします。

- 8 [はい]をクリックします。

名称	数量
1 切土	29.5
2 盛土	
3 床堀	1.8
4 埋戻	1.0

配置済みの表の値が訂正されます。

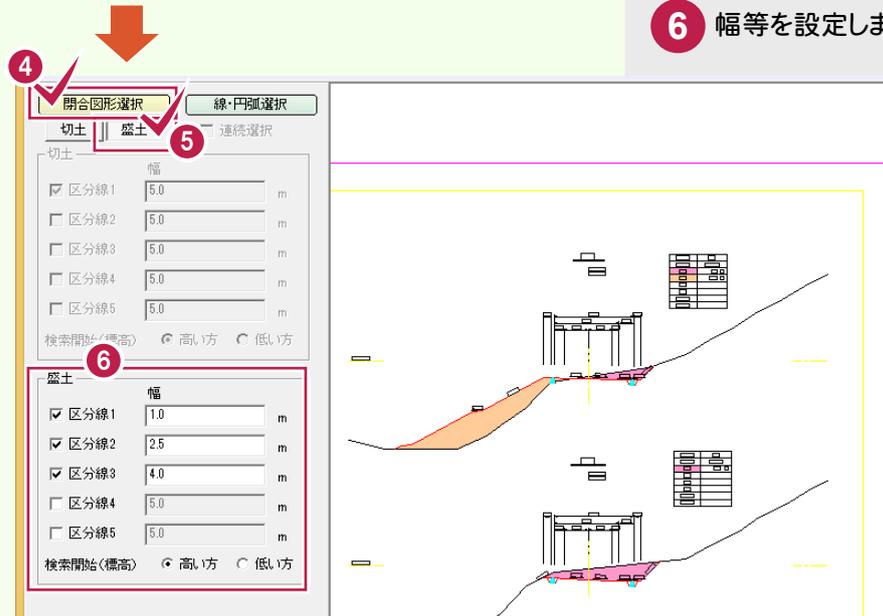
メモ

土工区分線の配置

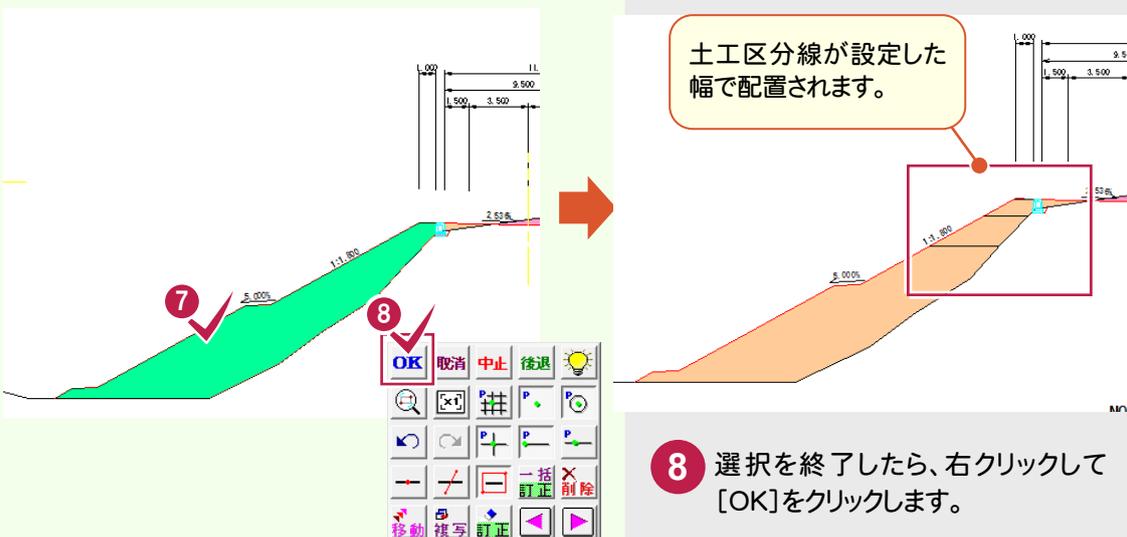
CAD に配置した横断面図に、土工区分線を入力できます。切土、盛土、各5つずつ、幅を設定できます。ここでは、盛土に土工区分線を入力する手順を説明しています。



- 1 [土木] をクリックします。
- 2 [土量] をクリックします。
- 3 [土工区分線] をクリックします。
- 4 [閉合図形選択] をクリックします。
- 5 [盛土] をクリックします。
- 6 幅等を設定します。



- 7 盛土の領域をクリックします。



2

土量集計表を作成する

土量集計表を作成します。



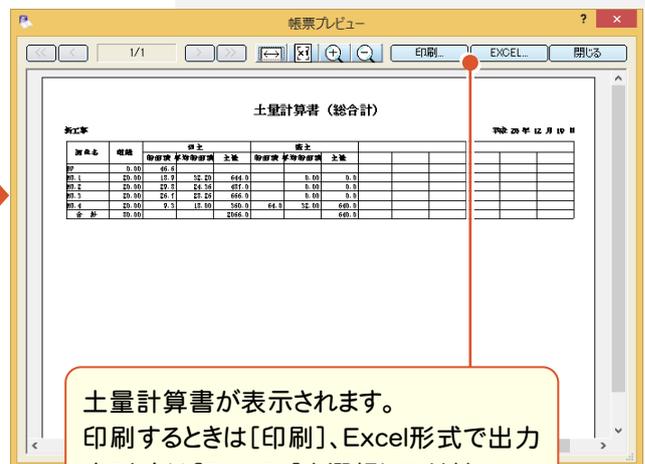
- 1 [土木]をクリックします。
- 2 [土量]をクリックします。
- 3 [土量集計]をクリックします。



- 4 [出力する項目]で集計する項目を選択し、日付、書式を設定します。

[出力する項目]で集計する項目を選択します。入力例では[面積:切土]と[面積:盛土]が選択されていることを確認します。

- 5 [集計対象]をクリックします。
- 6 断面を確認します。
- 7 [OK]をクリックします。



土量計算書が表示されます。印刷するときは[印刷]、Excel形式で出力するときは[EXCEL]を選択してください。

3

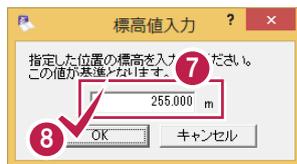
標高値を配置する

[土木]—[断面]—[標高値配置]コマンドで標高値、レベル記号を配置します。

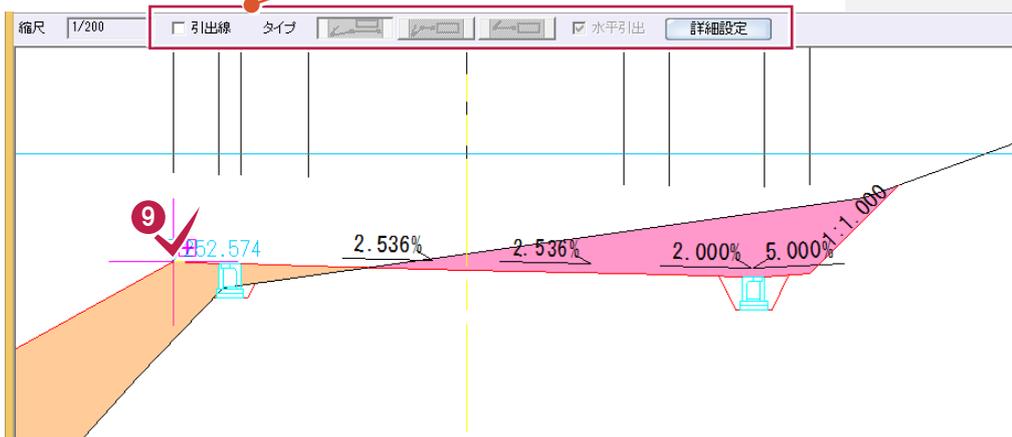


ピックモード: 線上

DL=255.000



引出線の設定ができます。



- 1 [土木]をクリックします。
- 2 [断面]をクリックします。
- 3 [標高値配置]をクリックします。
- 4 縮尺を設定します。
- 5 [OK]をクリックします。
- 6 基準となる標高点をクリックします。
- 7 指定した位置の標高を入力します。
- 8 [OK]をクリックします。
- 9 標高値を求める点をクリックします。